

■ 掲示板

■ 兵庫県立大学大学院物質理学研究科教員公募要領

1. 募集人数：助教1名
2. 所属：大学院物質理学研究科 物質科学専攻 物質機能解析学部門 量子物性学分野
(教授：小林寿夫, 准教授：小泉昭久 (本年10月1日就任予定) 在籍)
3. 専門分野：広い意味での磁性を中心とした物性実験。高圧力などを用いた複合極限環境下での放射光による物性研究に意欲のある方 (ただし経験は問わない)。
4. 応募資格：着任時に博士の学位を有すること。学部および大学院での教育・研究を担当していただきます。
5. 着任時期：平成20年4月1日 (予定)
6. 任期：7年 (再任する場合は1回を原則とし、再任後の任期は5年)。ただし、特別な事情があると認められる場合は、一定の手続きを経て例外措置として再々任を認めることがあります。
7. 提出書類：
 - (1) 履歴書
 - (2) 研究業績リスト (査読誌, 総説, 著書, プロシーディング, その他に分類すること)
 - (3) 主要論文別刷りまたはコピー (3編以内)
 - (4) これまでの研究の概要と今後の研究と教育への抱負 (2000字程度)
 - (5) 推薦書
(自薦の場合は本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先)
8. 応募締切：平成19年11月1日(木)必着
9. 書類送付先：
〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号
兵庫県立大学大学院物質理学研究科長 小原孝夫
事務部総務課気付 TEL：0791-58-0101
封筒に「量子物性学分野助教応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送のこと。
10. 問合せ先：
〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号
兵庫県立大学大学院物質理学研究科 小林寿夫
TEL：0791-58-0145 (直通)
E-mail：kobayash@sci.u-hyogo.ac.jp
なお、詳細は当研究科のホームページ
<http://www.sci.u-hyogo.ac.jp> 参照。

■ 平成20年度前期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する一部の企業等の基礎研究も対象となります。
応募期限：平成19年11月2日(金)必着

応募要領：申請書は、電子メールでの受付となりました。電子メールで提出の際、タイトルはPF_proposal (実験責任者) とし電子メールアドレス proposal@mail.kek.jp 宛に送信してください。

具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://www.kek.jp/uskek/apply/pf.html> を参照ください。

研究成果は公表して頂きます。

予算の範囲内で旅費支給等の便宜供与を行います。

申込、資料請求先：

高エネルギー加速器研究機構 総務部 研究協力課
共同利用支援室 共同利用係

Tel：029-864-5126, e-mail：kyodo1@mail.kek.jp

■ 財団法人高輝度光科学研究センター (JASR/SPring-8) 研究職員募集要領

【公募 No. 07A015】

1. 募集人員

光源・光学系部門 挿入光源・フロントエンドグループ 挿入光源チーム 研究員もしくは研究員 (技術担当) 1名

2. 募集分野

光源・光学系部門挿入光源・フロントエンドグループ挿入光源チームでは、大型放射光施設 (SPring-8) においてアンジュレータなど高輝度放射光源の開発研究と既設光源の維持管理を行う職員を募集します。特に経験は問いませんが、放射光装置科学分野に興味を持ち、光源研究に意欲的に取り組む方を期待します。

※業務内容等については、後述の部門長に、応募手続きについては総務部人事課にお問い合わせ下さい。

3. 待遇

財団法人高輝度光科学研究センター規程による。

4. 着任時期

平成19年12月1日以降、可能な限り早い時期。

5. 応募資格

工学系あるいは理学系の大学院修士課程修了もしくはこれと同等以上の能力を有する30歳位までの方。

6. 提出書類

(1) 履歴書 (当財団指定様式。以下 WEB サイトよりダウンロード。写真貼付)

http://www.spring8.or.jp/ja/news/job_opportunity/07a015

(2) 研究業績概要 (これまでの研究業績の概要)

(3) 研究計画書 (今後の抱負など)

(4) 研究業績リスト (学会発表・発表論文などのリスト)

(5) 主要論文別刷 (論文発表の実績がある場合3編以内)

(6) 推薦状 (自薦の場合は、意見を求めることができる方2名以上の連絡先)

※(2)~(4)の書類は、全て A4 判で作成のこと。

『履歴書の本人希望記入欄に、公募 No. を記載してください。』

〔個人情報の取扱について〕

ご提出いただいた書類は、採用審査の用途に限り使用されます。これらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

7. 応募締切

平成19年11月19日必着

8. 応募書類請求及び送付先

財団法人高輝度光科学研究センター総務部人事課

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

Tel : 0791-58-0951, Fax : 0791-58-2794

E-mail : jinji-saiyo@spring8.or.jp

9. 問合せ先

研究・業務内容については、以下にお問い合わせ下さい。

光源・光学系部門 部門長 後藤俊治

Tel : 0791-58-0877

e-mail : sgoto@spring8.or.jp

■財団法人高輝度光科学研究センター（JASRI/SPring-8）研究職員募集要領

【公募 No. 07A016】

1. 募集人員

光源・光学系部門 光学系グループ 研究員もしくは研究員（技術担当）1名

2. 募集分野

光源・光学系部門光学系グループは、大型放射光施設(SPring-8)の特徴を活かすビームライン光学系の技術開発及び維持管理を行います。今回募集する職員には、主としてX線及び軟X線ビームライン光学系において、真空中で高密度の熱負荷環境に晒される光学素子の「駆動調整機構」及び「冷却機構」の設計、評価、設置及び維持管理を担っていただきます。既設ビームラインの維持管理業務とともに、SPring-8の光学系に要請される技術開発テーマを提案し、自ら解決に邁進する意欲的な方を特に歓迎します。X線光学の知識を必ずしも問いませんが、精密機器の伝熱、機械設計の実務経験を有する方の応募を歓迎します。

※業務内容等については、後述の部門長に、応募手続きについては総務部人事課にお問い合わせ下さい。

3. 待遇

財団法人高輝度光科学研究センター規程による。

4. 着任時期

平成19年12月1日以降、可能な限り早い時期。

5. 応募資格

工学系あるいは理学系大学院修士課程修了もしくはこれと同等以上の能力を有するできるだけ若い方（33歳以下が望ましい）。

6. 提出書類

(1) 履歴書（当財団指定様式。以下WEBサイトよりダウンロード。写真貼付）

http://www.spring8.or.jp/ja/news/job_opportunity/07a016

(2) 研究開発概要

(3) 研究開発計画書（今後の抱負なども含みA4、3枚以内）

(4) 業績リスト（学会発表・発表論文や応募者が中心的役割を担った設計製作機器のリスト）

(5) 主要論文別刷（論文発表の実績がある場合3編以内）

(6) 推薦状（自薦の場合は、意見を求めることができる方2名以上の連絡先

※(2)~(4)の書類は、全てA4判で作成のこと。

『履歴書の本人希望記入欄に、公募No.を記載してください。』

〔個人情報の取扱について〕

ご提出いただいた書類は、採用審査の用途に限り使用されません。これらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

7. 応募締切

平成19年11月19日必着

8. 応募書類請求及び送付先

財団法人高輝度光科学研究センター総務部人事課

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

Tel : 0791-58-0951, Fax : 0791-58-2794

E-mail : jinji-saiyo@spring8.or.jp

9. 問合せ先

研究・業務内容については、以下にお問い合わせ下さい。

光源・光学系部門 部門長 後藤俊治

Tel : 0791-58-0877

e-mail : sgoto@spring8.or.jp

■会告

■日本放射光学会第75回評議員会議事録

日 時：2007年7月14日(土) 14:00~16:00

場 所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：朝倉清高，雨宮慶幸（会長），飯田厚夫，太田俊明，
大橋治彦，大柳宏之，尾嶋正治，加藤政博，鎌田雅夫，
木村真一，小杉信博，佐々木聡，澤 博（会計幹事），
繁政英治（渉外幹事），下村 理，高田昌樹，並河一道
（議長），間瀬一彦，水木純一郎，柳下 明，若槻壮市
各評議員
櫻井吉晴（編集幹事），百生 敦（庶務幹事），山本雅貴
（行事幹事）

欠席者：安藤正海，籠島 靖，辛 埴，寿栄松宏仁，関 一彦，
大門 寛，竹田美和，田中 均，藤森 淳

事務局：佐藤亜己奈（WORDS），西野三和子（WORDS）

〈報告事項〉

- 第21回年会・合同シンポ（JSR08）準備状況
山本行事幹事より，2008年1月12日-14日に立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催される第21回年会・合同シンポ（JSR08）の準備状況（組織委員会，プログラム委員会（案），実行委員会，予算案）について報告があった。また，参加費および今後のスケジュールを確認した。
- 第4回若手WS準備状況
山本行事幹事より第4回若手WS「次世代放射光源を用いた生命科学未踏領域への挑戦」について，2007年8月6日-7日にSPring-8で開催されることが報告され，プログラムについて説明があった。
- 会誌編集状況
櫻井編集幹事より，第80回編集委員会の報告および会誌の編集状況についての説明があった。
- 2007年度収支中間報告
澤会計幹事より，2007年度収支について中間報告があった。また，会計年度変更に伴う会費請求時期の変更について，会員にメールと手紙で知らせる旨が報告された。
- 第12回学会奨励賞公募状況
百生庶務幹事より，第12回学会奨励賞の公募状況についての報告および審査手順の説明があった。
- AOFSRR (Asia-Oceania Forum for Synchrotron Radiation Research) 関連
高田評議員より AOFSRR2007の準備状況について報告があった。また，9月10日-20日にSPring-8で開催される1st AOFSRR Summer School Cheiron School 2007の内容および準備状況について報告があった。
- その他
雨宮会長より科学研究費補助金の平成20~21年度時限付分科細目に「量子ビーム」が設定されたことについて報告があった。近日中に会員にメールで周知する予定である。このような動きに対する関わり方について学会として議論しておくべきという意見があった。

〈審議事項〉

- 会員の異動状況
百生庶務幹事より，第74回評議員会以降の入退会者に関する報告があり，審議の結果承認した。入会：正会員6名（うち学生会員1名），退会：正会員16名（うち学生会員7名）。総会員数は1295名（内 学生会員192名），賛助会員49社53口となった。
- 20周年記念事業
雨宮会長より20周年記念事業の企画委員会委員案について説明があり，承認した。企画委員会は8月に開催予定である。また，創立20周年記念式典・シンポジウムの素案について説明があった。
- ホームページについて
繁政渉外幹事より学会ホームページの英語化，会員専用ページの見直し，ホームページ全体の更新について説明があった。学会ホームページの英語化について，コンテンツを限定して作業し，次回の評議員会で案を示せるようにしたいとの説明があり了解した。また，会員専用ページについて，まず入口のページを作成し，そこからパスワードで会員名簿と学会誌にリンクするようにすることが説明され了解した。ホームページ全体の更新について英語版も含めて専門業者に作成依頼を検討中であるが，費用の問題もあるので次年度の検討事項とする旨が報告された。
- 奨励賞規定の改定について
百生庶務幹事より，学術賞等選考委員会規定の改定案について説明があり，審議の結果承認した。

| | |
|-------|---|
| (改訂前) | 3. 学術賞等選考委員会の委員長は，会長があたる。 |
| (改定後) | 3. 学術賞等選考委員会の委員長は，会長があたる。ただし，次期会長が決定しているときは，次期会長があたる。 |

| | |
|-------|---|
| (改訂前) | 4. 学術賞等選考委員会の委員は学術賞等選考委員長によって正会員の中から指名される。その任期は1年以内とし，学会の年度をもって終わる。 |
| (改定後) | 4. 学術賞等選考委員会の委員は学術賞等選考委員長によって正会員の中から指名される。その任期は1年以内とする。 |

- 名誉会員推薦について
雨宮会長より，名誉会員の推薦方法について提議があった。出席委員より，名誉会員推薦の基準がはっきりしていないので，まずはっきりとした基準を作るべきではないか，自然に推薦があるのを待つべきではないかなどの意見があり，名誉会員の推薦については，継続審議をすることとなった。
- 協賛等について
繁政渉外幹事より本学会に対する協賛依頼等について報告が

あり、協賛9件、後援1件、協力1件を承認した。

7. その他

前回の評議員会で柳下評議員より提議があったVUV・軟X線領域の放射光科学における位置付けについて、VUV・軟X線科学推進の立場で議論する枠組みを学会に設けてほしいとの具体的要請が同評議員よりあり、これについて議論をした。分科会や研究会とすること、特別委員会とした場合の在り方、などについて意見があったが、結論には至らなかった。この提議をどのような形で扱うかについて幹事会で検討をし、次回評議員会に提案をすることとなった。

8. 次回評議員会日程の確認

第76回評議員会

2007年11月17日(土) 14:00-16:00

場所: 理研東京連絡事務所 会議室

■会員異動

第75回評議員会(2007年7月14日)で承認

《正会員入会》

成山 展照 勸高輝度光科学研究センター ビームライン・技術部門
奥山 大輔 科学技術振興機構 ERATO 十倉マルチフェロイックス
前島 一博 理化学研究所 今本細胞核機能研究室
江口健一郎 榊白石中央研究所
矢野 陽子 立命館大学

以上5名

《学生会員入会》

小谷 佳範 総合研究大学院大学

以上1名

《退会会員》

正会員9名, 学生会員7名

《会員数》

会員1295名(内学生192名) 賛助会員49社(53口)

一口メモ

紅花

エジプトで生まれ、シルクロードを通して日本にやって来たキク科二年草の紅花は古くは万葉集に歌われている。葉は広披針形で、周辺には刺がある。夏には紅黄色のアザミに似た頭花をつけ、その花冠は染料として、またサフラワーオイルの原料として用いられている。日本では山形県で多く栽培されている。

本年8月22日から26日までモロッコのマラケシュで開かれました第24回欧州結晶学会に出席しました。初めてのアフリカ入りで不安がありました。新市内は近代化されていて不自由は感じませんでした。一方、世界遺産に指定されています旧市内のジャマ・エル・フナ広場の賑わいにはびっくりしました。会議の休憩時間に市内を散歩していると、バラ(モロッコの国花)、ハイビスカス、ブーゲンビリア等のきれいなトロピカルな花が観賞でき、街路樹にはオレンジが植えられていて、気候の温暖さを感じました。さらに、郊外に出ますと砂漠にはなっていませんでしたが、赤茶色の土が目につきました。そんななかでも、植樹されているオリーブとアルガンの木の種子からはオイルを、マホガニーの木根からは寄木細工を作るそうです。乾燥に強いユーカリの木も植栽されていました。今後、機会がありましたら風土、気候の表情豊かな地中海沿いの地域、モロッコの背骨のように横たわるアトラス山脈、南部に広がるサハラ砂漠をぜひ訪れたいと思っています。(No. 77, K. Ohshima)



第21回日本放射光学会年会・ 放射光科学合同シンポジウム (JSR08) 開催要項

1. 開催日 2008年1月12日(土), 13日(日), 14日(月)
2. 場所 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス (滋賀県草津市野路東1丁目1-1)
3. 主催 日本放射光学会
共催 立命館大学 SR センター, 立命館大学放射光生命科学研究センター, 高エネルギー加速器研究機構放射光科学研究施設, 高輝度光科学研究センター, 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター, 産業技術総合研究所計測フロンティア研究部門, 自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設, VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会, SPring-8 利用者懇談会, 東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設, 東京理科大学総合研究所赤外自由電子レーザー研究センター, 東北大学特定領域横断研究組織「シンクロトロン放射」, 名古屋大学小型シンクロトロン光研究センター, 日本大学電子線利用研究施設, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 広島大学放射光科学研究センター, PF 懇談会, 放射線医学総合研究所重粒子医科学センター, UVSOR 利用者懇談会, 東京大学放射光連携研究機構
4. 組織委員会 ([] は推薦団体, ○は委員長)
足立伸一 [KEK-PF], 雨宮慶幸 [学会会長], 伊藤功 [東大物性研], 伊藤正久 [SPring-8 懇], 太田俊明 [実行委員長, 立命館大 SR], 岡島敏浩 [SAGA-LS], 尾嶋正治 [東大放射光連携], 木村真一 [分子研], 組頭広志 [PF 懇], 小池正記 [産総研], 櫻井吉晴 [高輝度光セ], 佐藤勇 [日大], 澤博 [学会会計幹事], 高桑雄二 [東北大], 高嶋圭史 [名大], 築山光一 [東京理科大], 生天目博文 [HiSOR], 難波秀利 [プログラム委員長], 野田大二 [兵庫県立大], 日野照純 [UVSOR 懇], 松田巖 [VUV・SX 懇], 山田廣成 [実行副委員長, 立命館大生命], ○山本雅貴 [学会行事幹事]
5. プログラム委員会 (○は委員長)
足立伸一 (KEK-PF), 雨宮健太 (KEK-PF), 池浦広美 (産総研), 稲田康宏 (KEK-PF), 太田俊明 (立命館大SR), 岡島敏浩 (SAGA-LS), 小川浩二 (SAGA-LS), 木村洋昭 (JASRI), 澤博 (KEK-PF), 繁政英治 (UVSOR), 島田賢也 (HiSOR), 竹本邦子 (関西医大), 田中均 (理研), 築山光一 (東京理科大), ○難波秀利 (立命館大), 野田大二 (兵庫県大), 馬場祐治 (原子力機構), 原田慈久 (東大), 早川慎二郎 (広大), 溝川貴司 (東大), 持箸晃 (JASRI), 百生敦 (東大), 森脇太郎 (JASRI), 山本雅貴 (組織委員長), 渡辺一寿 (産総研), 渡邊信久 (名大)
6. 実行委員会 (○は委員長)
家路豊成 (立命館大 SR), 池田弘幸 (立命館大 SR), 石井秀司 (イオン工学研究所), 市原岳洋 (立命館大), ○太田俊明 (立命館大 SR), 小田紀子 (立命館大), 木原裕 (関西医大), 木村真一 (UVSOR), 木村洋昭 (JASRI), 小堤和彦 (立命館大), 小島一男 (立命館大), 澤博 (会計幹事), 島村幾代 (立命館大), 城戸義明 (立命館大), 杉山進 (立命館大), 大門寛 (奈良先端大), 高田淑子 (立命館大), 竹本邦子 (関西医大), 中西康次 (立命館大 SR), 中村尚武 (立命館大), 難波秀利 (立命館大), 西村智朗 (立命館大), 長谷川大祐 (立命館大), 文雅司 (立命館大), 松井文彦 (奈良先端大), 矢野陽子 (立命館大), 山田廣成 (立命館大生命), 山本孝 (京大工), 山本雅貴 (組織委員長), 山本安一 (立命館大 SR), 渡辺巖 (立命館大 SR)

7. JSR08のホームページについて

ホームページのアドレスは、以下の通りです。

<http://www.jssrr.jp/jsr08/>

8. 会期中の会議等の開催について

各施設の利用者団体の活動・成果報告・将来構想の検討のために、会合の開催を受け付けております。会場は、2, 3日目の9:00~17:00の間、使用可能です。すでに共催団体として登録されている利用者懇談会の開催日程につきましては決定しており、未登録の施設利用者団体の申し込みを受け付けております。その際、すでに予定されている共催団体の会合時間とできるだけ重複しない時間に設定していただくようお願いいたします。10月19日(金)までに、下記の申込書をコピーし、FAXにて事務局にお申し込みください。なお、会議時間が複数件重なった場合の調整は、実行委員会に一任願います。

《申込・お問い合わせ先》日本放射光学会事務局

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-62-8 ビッグオフィスプラザ507 (有)ワーズ内

TEL: 03-5950-4896 FAX: 03-5950-1292 E-mail: jsr08@jssrr.jp

| 第21回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム 施設会合申込書 | | | |
|-------------------------------------|--------------|-------------|------------------|
| 会合名 | | | 希望日 月 日 |
| 参加見込み人数 人 | OHP 要 / 否 | 白版 要 / 否 | 希望時刻 時 分~ 時 分 |
| 連絡先 | | | |
| 所属 _____ | | | |
| 氏名 _____ | | | |
| Tel. _____ | | FAX. _____ | |
| E-mail _____ | | | |

■行事予定

| 開催月日 | 名 称 | 開 催 地 | 主催又は問い合わせ先 | 掲載巻・号 |
|----------------------|---|---|--|-------|
| 2007年 10/19 | 腐食防食部門委員会 第56回研究集会 | たかつガーデン 3F カトレア | 日本材料学会 E-mail: jimuj@jsms.jp | 20・5 |
| 10/20 | SPring-8 供用開始10周年記念シンポジウム | 県立先端科学技術支援 センター (CAST) 大ホール, 交流サロン | 物理化学研究所, 財高輝度光科学研究センター E-mail: 10th_anniv_sympo@spring8.or.jp | 20・5 |
| 10/29- 11/2 | 第16回二次イオン質量分析国際会議 | 石川県金沢市県立石川 音楽堂 | SIMS XVI 国際会議組織委員会 | 19・6 |
| 10/29- 11/2 | 第6回新材料・素子の原子レベルキャラク タリゼーションに関する国際シンポジウム | 石川県金沢市県立石川 音楽堂 | 日本学術振興会マイクロビームアナリ シス第141委員会 | 19・6 |
| 11/1-2 | The 2nd Asia/Oceanic Forum for Synchrotron Radiation Research | National Chiao Tung University, Hsinchu, Taiwan | 日本放射光学会 E-mail: aof@nsrrc.org.tw | 20・5 |
| 11/5-8 | 第20回マイクロプロセス・ナノテクノ ロジー国際会議 | 京都国際会議場 | 社団法人 応用物理学会 E-mail: secretariat@imnc.jp | 20・2 |
| 11/6-9 | ASR2007 “Charged Particle and Photon Interactions with Matter” | 日本原子力研究開発機 構先端基礎研究セン ター | 日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター E-mail: akinari@jaea.go.jp | 20・4 |
| 11/8-9 | 第36回薄膜・表面物理基礎講座 (2007年) 「量子構造の基礎から応用まで」 | 東京理科大学 | 応用物理学会薄膜・表面物理分科会 E-mail: divisions@jsap.or.jp | 20・5 |
| 11/12 | 第23回 (2007) 京都賞記念ワークショップ 「有機半導体・伝導体の新たな展開」 “New Developments in Organic Semiconductors and Conductors” | 国立京都国際会館 | 財団法人 稲盛財団 E-mail: research@inamori-f.or.jp | 20.5 |
| 11/14-16 | 第48回真空に関する連合講演会 | 学習院百周年記念会館 | 日本真空協会 E-mail: ofc-vsaj@vacuum-jp.org | 20・2 |
| 11/22 | JST-SORST (物理・情報系) フォーラム 2007 新「物質・機能」の開拓と未来への展望 | 日本科学未来館 7階 みらい CAN ホール | 独立行政法人 科学技術振興機構 E-mail: sorst07@yaesu-sorst.jst.go.jp | 20・4 |
| 11/29-30 | 第12回放射線プロセスシンポジウム | 日本科学未来館 7階 みらい CAN ホール及 び会議室 | 財団法人放射線利用振興協会・放射線 プロセスシンポジウム実行委員会 | 20・5 |
| 11/29-30 | 講習会「X線反射率法による薄膜・多層膜 の解析」 | 物質・材料研究機構 千現地区 | 応用物理学会 埋もれた界面の X 線 ・中性子解析グループ E-mail: sakurai@yuhgiri.nims.go.jp | 20・4 |
| 12/10-11 12/13-14 | 講習会「粉末結晶解析・蛋白質結晶解析へ の直接法の新展開」 | 「東京会場」 東京理科大学 森戸記念館 「大阪会場」 マイドームおおさか | 日本結晶学会 E-mail: uekusa@cms.titech.ac.jp | 20・5 |
| 2008年 1/12-14 | 第21回日本放射光学会年会・放射光科学合 同シンポジウム | 立命館大学 びわこ・ くさつキャンパス | 日本放射光学会 E-mail: jsr08@jssrr.jp | 20・5 |

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

参加申込締切：2007年10月26日(金)

内容問合せ先：

吉村雅満 豊田工業大学

TEL：052-809-1851 FAX052-809-1851

E-mail：yoshi@toyota-ti.ac.jp

笹川 薫 (コベルコ科研)

TEL：078-9992-6081 FAX：078-992-6314

E-mail：sasakawak@kobelcokaken.co.jp

参加問合せ先：

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-3

井門九段北ビル 5F

応用物理学会 分科会担当 伊丹

TEL：03-3238-1043 FAX：03-3221-6245

E-mail：divisions@jsap.or.jp

■第23回(2007)京都賞記念ワークショップ「有機半導体・伝導体の新たな展開」
“New Developments in Organic Semiconductors and Conductors”

主催：財団法人 稲盛財団

協賛：日本放射光学会，他

日時：2007年11月21日(月) 午後

会場：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

企画：

梶山千里 [先端技術部門審査委員会委員長 九州大学 総長]

関一彦 [名古屋大学大学院理学研究科 教授]

問合せ先：

稲盛財団 学術部 山本武志

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620

TEL：075(353)7272 FAX：075(353)7270

E-mail：research@inamori-f.or.jp

■第12回放射線プロセスシンポジウム

放射線プロセスシンポジウムは各種産業分野における放射線利用に関する最新の研究成果の講演とポスター発表並びに情報交換を行うことにより、放射線の産業利用の普及・啓発を図り、明日の科学技術の振興に役立てることを目的として開催するものです。

主催：財団法人放射線利用振興協会・放射線プロセスシンポジウム実行委員会

日時：2007年11月29日(木)～30日(金)

会場：日本科学未来館 7階 みらいCAN ホール及び会議室

(東京都江東区青海 2丁目41番地，新交通ゆりかもめ「船の科学館」駅下車徒歩5分)

講演会：特別講演2件，トピカル講演2テーマ(各2件)，一般講演18件

ポスター発表：

シンポジウム初日にポスターセッションを設けます。

参加費：(講演要旨集代を含む，当日申し受けます)

大学・研究機関・企業 3,000円

一般・学生 1,000円

懇親会：会場 日本科学未来館 7階レストラン

日時 11月29日(木) 18：10～19：40

会費 3,000円(当日申し受けます)

参加登録申込：

氏名，勤務先，連絡先，及び懇親会出席の有無を明記のうえ，下記事務局宛 e-mail 又は Fax にてお申し込み下さい。

事務局：

財団法人 放射線利用振興協会 高崎事業所 普及開発部
(担当 須永，清水)

〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町1233

TEL：027-346-4247 FAX：027-346-9822

e-mail：sunaga@rada.or.jp 又は shimizu@rada.or.jp

■講習会「粉末結晶解析・蛋白質結晶解析への直説法の新展開」

主催：日本結晶学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2007年12月10日(月)，11日(火)，13日(木)，14日(金)
9：00-17：00

会場：「東京会場」東京理科大学 森戸記念館

(東京都新宿区神楽坂 4-2-2)

「大阪会場」マイドームおおさか

(大阪市中央区本町橋 2-5)

定員：各日100名先着順受付

参加費：

各日とも，主催者および日本化学会会員10000円，協賛会員12000円，学生5000円，一般15000円，サブテキスト配布有

申込先：

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

大塚3丁目ビル日本結晶学会事務局

TEL：03-5940-7640 FAX：03-5940-7980

詳細は以下のHPを参照の上，結晶学会へお申し込み下さい。

講習会ホームページ <http://www.cms.titech.ac.jp/cgkouen/>

結晶学会 <http://www.crsj.jp/>

問合せ先：

東京工業大学大学院理工学研究科 物質科学専攻 植草秀裕

(03)5734-3529 E-mail：uekusa@cms.titech.ac.jp

● 会誌オンライン利用方法の変更に関するご案内 ●

編集委員長 櫻井吉晴

渉外幹事 繁政英治

日本放射光学会のホームページの一部更新に伴い、オンライン会誌へのアクセス方法が次の通り変更になりましたのでお知らせします。

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックして頂き、会員専用ページにアクセスして頂くことになります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr205

Password : u6yr2pAb

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら、繁政 (sigemasa@ims.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。